

植木団地追い出し絶対反対！十一月・三〇全国総決起集会
職場を守り生活破壊と闘う仲間と共に闘おう！

去る十一月三〇日(日)、高槻市川添の富田団地の近隣にある植木団地の現地闘争に、港合同を代表して四名で参加してきました。

もともと、植木団地は、一九七五年同和对策事業



の一環として始まりました。高槻市富田地域の職場産業であった園芸業を営んでいた人達が、団結して生きていくために高槻市富田園芸協同組合を結成したのです。高槻市も協力して高槻市川添地区に植木団地を作り、四〇年余り造園業を営んできました。植木団地で働く労働者にとって植木団地は、なくてはならない生産と生活の場であり、団結の砦としてあるばかりではなく、住民生活と結びついた存在でありました。

ところが高槻市は、昨年十一月二十九日、突然一方的に「使用契約を更新しない」、「二〇一四年十一月三〇日までに出て行け」と言ってきたのです。高槻市は一切の話合いを拒否し、植木団地で働く労働者とその家族を問答無用に路頭に放り出し、更地にして売り飛ばしてしまおうという攻撃です。

植木団地労働者は議員や弁護士を頼りましたが、納得のいく方針がない中で全国水平同盟と出会い、今年の十月五日、全国水



平同盟高槻支部を結成、十月十一日、植木団地労働組合の結成、それから十・十七関西国鉄集會に参加され、続いて東京日比谷野音で行われた十一月・三〇全国労働者総決起集會に参加。急速に闘う団結を形成してきました。

そして「植木団地追い出し絶対反対！安倍を倒

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



連帯挨拶するK執行委員

せ！十一・三〇全国総決
起集会」を開催し、植木
団地労働者の固い決意表
明がされていきました。

連帯の挨拶では、全国
から結集した全国水平同
盟の本部・支部の皆さん、
そして高槻医療福祉労組、
北摂ユニオンなど地域の
労働組合、そして全国か
ら結集した労働組合が次々

と発言されました。

港合同からK執行委員
が連帯挨拶を行い「港合
同の半世紀を超える歴史
は、絶えず資本・権力に
よる団結破壊、組合つぶ
し、会社丸ごとの組織破
壊との闘いであった」
「激しい倒産・破産との
闘いの中でつかんだのは、
執念をもって闘えば必ず
活路は切り開かれる、ど
んなに強大に見える敵で
あっても弱点のない敵は
いないという事」「職場
を奪い生活を破壊する高
槻市の攻撃に対して立ち
上がった植木団地の仲間
の闘いに連帯して共に闘っ
ていく」と決意が述べら
れました。



1時間半の練り歩き大デモ

又、十一・二全国労働
者総決起集会のデモでっ
ち上げで逮捕された学生
の内、京大生の当該二名
が二十日間の拘留の後、
釈放され元気に登場して、
連帯挨拶で安倍打倒と訴
えていました。
その後、闘争宣言・団
結ガンバローで締めくく
りデモを行い貫徹してき



ました。

デモ終了後、交流会が
持たれ、高槻・富田の地
酒と焼きそばと共に、地
底旅行の地ビールも振る
舞われました。

餅つきあり、江州音頭
あり、賑やかに交流を深
めました。

昌一金属支部 O・U

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！